



神崎市議会だより

あやとり



国民スポーツ大会 2024 の剣道競技、ハンドボール競技が神崎市にて開催されました。
競技開催前には、市長はじめ市職員及び市議会議員で会場周辺の清掃活動を実施しました。

8月定例会

11月定例会は11月29日開会予定です。

議会在可決したのはどんな予算？



おもな補正予算を紹介します

8月定例会の補正予算総額 4億5,568万6千円

8月定例会は、令和6年8月28日から9月27日までの31日間開かれ、一般質問に12人が登壇し、神崎市政全般について質疑を行いました。補正第5号で4億5,568万6千円を追加し、総額229億3,361万6千円となりました。

王仁公園でイベントを行います！

○王仁博士顕彰公園利活用事業

231万5千円

王仁博士顕彰公園で行う、新春書初め大会（令和7年1月開催予定）開催費、及び王仁博士顕彰公園利活用実行委員会への補助費について、予算の補正を行う。



◀以前の書初め大会の様子

防火水槽フェンスの更新

○消防施設費

（防火水槽フェンス更新工事請負費）

299万2千円

地元から、防火水槽のフェンスの老朽化により発生した危険箇所があるため、防火水槽の更新について要望があった。フェンスの老朽化により、支柱の腐食、およびメッシュ部分の破損が発生しており、事故発生の危険がある箇所について、防火水槽フェンス更新工事を行うための予算を計上する。

【対象地区】

第3分団第2部（城原、二子、八子、朝日）
第8分団第6部（鹿路）

芸術にふれよう♪

○千代田文化会館自主事業 73万7千円

新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年度子ども能楽教室の開催が中止となっており、芸術体験及び鑑賞の機会を失った、当時小学校5年生であった千代田中学校1年生および脊振中学校1年生を対象に、世界中で演奏活動を行う4名による「A Life with Jazz in concert ~ワークショップ~」を開催する。生徒席等を除く330席については、市民向けに販売する。（コンサート：11月26日（火）



予算特別委員会のQ & A

補正予算の審議について、質疑を抜粋して紹介します。

財産運用収入について（今回補正額81万円）

Q

利子及び配当金が81万円増加した理由は、まちづくり基金の運用で、定期預金を解約し、地方公共団体金融機構債を購入した結果とのことであるが、この運用に関する判断や決定までの過程はどのようになっているか。

A

会計課にて国債の利率などを確認しており、現状よりも更に有利だと判断した場合は財政課との協議を経て市長決裁を受け実行している。市における債券運用については、利率の高い有利なもの、元本割れしないものなど、確実なものを厳選して運用している。

ガバメントクラウド早期移行団体検証事業 112万1千円

（事業の目的）

地方公共団体は、情報システムの標準化・共通化と併せて令和7年度末までにガバメントクラウド上に完全移行することとされており、当市は、デジタル庁より「令和6年度ガバメントクラウド早期移行団体検証事業」の採択を受けたことから、その移行に伴う安全性等を考慮し、早期に移行準備に取り掛かることを目的とする。

Q

この事業は、国の方針として、全ての自治体で統一された情報システムがガバメントクラウド上に移行するものなのか。そうであれば、個人情報等の流出防止に関する対策は。

A

ガバメントクラウドとは、自治体や行政が利用できる行政で構築された情報システムである。
個人情報等の流出防止については、自治体が対応すべき領域は、厳正に対応していく。

中学校施設整備費（千代田中学校受水槽改修事業） 2,096万6千円

（事業の目的）

中学校施設を安全・安心に利用していくために、緊急度及び必要性に応じて適切かつ計画的に施設保全・整備を行い、施設の長寿命化とともに教育環境の改善を図ることを目的とする。

Q

千代田中学校に設置されている受水槽は、生徒が多い時に設置されており、現在は生徒数も減っている。受水槽の規模について、小さくする考えはあるのか。

A

設置当時よりも生徒数が少なくなっているため、改修設計において現在の生徒数を示しており、十分足りうる形で取組みたいと考える。

決算特別委員会のQ & A

決算特別委員会とは・・・

予算が適正かつ妥当に使われているか、審議を行う特別委員会です。神崎市議会では、令和6年度においては、議長、議選の監査委員を除く16名で構成されました。

決算特別委員会での主な質疑について紹介します。

総務企画部

主要施策の成果に係る報告書（総括）について

Q

財政の健全化判断比率は基準を下回っており問題ないとの説明、及び経常収支比率が92%から94%に2ポイント増加し、その要因として公債費、人件費の増とのことだが、中期財政計画での今後の見通しは。

A

毎年、県へ提出している中期財政計画と合わせて、決算認定後に10年先を見通した財政シミュレーションを立てている。

公債費については、今後も新発債を毎年10億円借りるのは無理があると考え、来年度以降はもっと少ない状況でシミュレーションをやり直す計画をしている。人件費については現在と比べて大きな変化はないとシミュレーションしている。

神崎市水源地域振興計画推進事業

Q

この事業の委託料1,028万4千円が随意契約である理由は。

A

当該業者は令和元年度実施の公募型プロポーザル方式で決定した振興計画策定支援業務の受注業者であり、令和4年度までの全期間で計画策定に携わっている。

そのため、地域特性や課題、過年度の検討結果を踏まえた的確かつ迅速な対応が可能であること、また費用的な面でも他業者より優位となることから、振興計画推進事業において随意契約を締結した。



▲ワークショップの様子

市民福祉部

障害児支援給付費

Q

対前年度 7,350 万 5 千円の増の要因として、市内に新規障がい児通所施設が開設され、サービス利用がしやすくなり利用延人数が増えたことによるとあるが、現在市内に障がい児通所施設は何ヶ所あるのか、また利用者人数は。

A

施設としては、児童発達支援の事業所については6事業所、放課後等デイサービスについては10事業所ある。月平均の利用数で、児童発達支援で63名、放課後等デイサービスで172名、保育所等訪問支援で1名利用がある。

産業建設部

さかの稼げる水田農業推進事業

Q

各法人・営農組織等が導入する機械、器具で、事業実施主体が導入する総事業費より補助対象標準事業費が安く、農家負担が多くなるためコスト低減に向けて取り組んでもらいたい。

A

近年の物価高騰に伴い、農業機械等の価格上昇により、農家負担の増加が懸念されており、県に対して補助条件の緩和、標準事業費（補助上限）の高上げ等を要望する。



教育委員会

小学校教育 ICT 振興事業

Q

国の GIGA スクール構想に基づいて、児童 1 人 1 台の学習用端末を整備するとのことで、ほぼ全学年整備が終わった。現在この端末を使つての家庭学習はどのように行われているのか。

A

端末の持ち帰りは、それぞれ学校で取り扱いは異なっている。家庭に持って帰って宿題をしたり、教材、ドリルなどを導入している学校もある。オンラインかオフラインのどちらかについては把握していないが、持ち帰って日記などの記録として使うことは可能と考える。主に高学年・中学生の家庭学習の活用が中心になると思う。



▲学習用端末を用いた授業の様子



賛否があった議案を紹介します。

議案第59号

議案名：令和5年度神崎市一般会計歳入歳出決算認定について

議案番号	議決結果	野副芳昭	平山文也	吉田守	大野秋人	末次勝	増田紀之	徳川博人	副島英樹	服巻玉美	中野均	野口英樹	白石昌利	原口ひさよ	田原和幸	木原憲治	永沼彰	福田清道	佐藤知美	
議案第59号	賛成多数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

野副芳昭議員は議長のため採決に加わっていません。

反対討論 福田 清道 議員

日本共産党市議団を代表して第59号議案認定に反対討論をする。

令和5年度の決算において、子どもの医療費、高校卒業までの無料化継続、子育て支援センターなどの取り組みについては評価できる点もあるが、以下に述べる行政事務手続きの在り方、公共事業の契約の在り方、それに伴う税金の使い方について特に、公共事業の契約について定めた地方自治法第234条に基づく、地方自治法施行令第167条の2（随意契約条項）は「競争入札を経ず、随意契約ができる条件を定めた条項」から逸脱した契約であると判断した。以下その具体的事例を述べる。

- ①令和5年度の「ホテル神崎温泉跡地周辺利活用事業」について、コンサルタント会社との随意契約を行った。これは、キャンプ場づくりの企画書を作るための事業である。執行部はこの会社と令和3年より12回ほど打ち合わせ、現地視察・検討を重ねてきた、と答弁した。コンサルタント会社とまちづくりについて研究、情報の収集をすることは、当然行政としてあり得ることである。だからと言ってその業者と入札の手続きをせず、随意契約をすることは別問題である。これは、最高裁判所、昭和62年3月20日判決の「合理的判断」理由には当てはまらないと考える。まずこのことを指摘する。
 - ②この事業予算の決裁手続きについて、公募書類事業内容に基づき担当課は予算を起案し、神崎市財務規則に基づき、関係各課と合議を行わなければならない。財務規則第87条の2項には副市長、部長等、課長等は事前承認に関する事務について、決裁をすることができる」とされている。最終は市長の判断である。しかしこの事業について、財政課との合議は整ってなく、財政課は保留をしていた。それにもかかわらず執行部は財政課との合議が整ってなくても市長の決裁があれば事業を進めることができるとして、入札（プロポーザル方式）を強引に進めた。結果は1社のみ応募があったが、書類不備で失格。こういう強引な事業の進め方は明確に神崎市財務規則に抵触していると言わざるを得ない。
 - ③「ホテル神崎温泉跡地周辺利活用手法検討・支援業務委託料」委託先に当初契約額、1,049万1千円の内、事業書類作成費用として、914万8千円、実に、87.2%も支払っている。まだ契約業務は残っている。これは払い過ぎであり税金の無駄遣いである。
- 以上3点を指摘し、令和5年度神崎市一般会計歳入歳出決算認定に反対とする。

賛成討論 服巻 玉美 議員

令和5年度一般会計における決算収支状況は、実質収支において黒字となるなど、予算全般には行財政運営の努力が評価されます。

歳入においては、自主財源で歳入の根幹をなす市税では2.7%増となっており、市が実施してきた様々な取り組みの成果であると、評価します。市民の納付意識の高揚を図るとともに、効率的で確実な徴収対策等を行い、引き続き税収の確保に努めていただきたい。

市債発行についても、市債発行額の抑制や平準化を図り、市債残高の縮減に取り組むことを望みます。

歳出の主な施策成果については、令和5年度も定住促進事業など成果をあげています。市内の定住を促進し地域活性化の施策は地道に継続して実施されたことは評価できます。さらにPRに力を入れ、努力される事を望みます。

非常備消防費、農林水産費、土木費及び災害復旧費等において、災害から、市民の生命・身体及び財産を守る施策が実施されています。後継者不足や高齢化の問題を抱える農業分野においては、スマート農業推進事業に取り組むなど非常に評価できます。

神崎市の次世代を担う子供たちへの取り組みとして、令和5年度も引き続き、小・中学生、高校生等医療費助成事業、包括的支援事業などが実施され、子ども・障がい者、高齢者の福祉増進が図られております。

教育分野では、児童・生徒が安心して学校生活をおくるための教育環境整備や生涯学習の推進・文化財事業など幅広い事業に取り組まれています。特に放課後児童クラブなどは、子どもの居場所づくりのための大切な事業であると思います。

他のいずれの事業でも、市民皆様が神崎市に住みたくなる、住み続けたくなるまちづくりの成果に繋がるものと評価します。

最後に、ふるさと納税推進事業、長崎街道神崎宿観光拠点づくり事業など、他2件の案件では、今後の市の将来に対する不安を抱くものです。

今後も引き続き、限られた財源で、必要な施策を効果的に進め、人口や財政規模に見合った施策を展開し、社会情勢の変化に対応しながら、市長をはじめ市職員及び関係者そして市民がチーム（パートナー）となり、地域・住民の幸せ、そして住みたい・暮らしたい、将来にわたり持続可能な希望あふれる神崎市のまちづくりにつながる取り組みを期待して、私の賛成討論とします。

議案第60号

議案名：令和5年度神崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

議案番号	議決結果	野副	平山	吉田	大野	末次	増田	徳川	副島	服巻	中野	野口	白石	原口	田原	木原	永沼	福田	佐藤
		芳昭	文也	守	秋人	勝	紀之	博人	英樹	玉美	均	英樹	昌利	ひさよ	和幸	憲治	彰	清道	知美
議案第60号	賛成多数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

野副芳昭議員は議長のため採決に加わっていません。

反対討論 福田 清道 議員

令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定に反対の立場から討論いたします。

平成30年度より、国保行政の仕組みが変わり、県が保険者となり、市町の国保行政を統括、監督する制度となりました。

これにより市の国保行政は、市民である被保険者へ税の賦課と徴収をし、県へ納付する仕組みに変更されました。県は集めた保険税を市町に医療費分の「交付金」を支給します。この改定で、神崎市の国保行政の権限が大幅に制限されることとなりました。

国保加入世帯は、自営商工業者、農業者、75歳未満の会社等を退職された方々、また無職の方など、年収が比較的少ない方たちが加入されています。

そういう中で、あまりにも高い国保税の負担は特に自営業者、農業者の生活を脅かしています。神崎市の令和5年度の決算を見ても、保険税調定額、7億2,200万円、収入済額、6億3,200万円となっており、調定額に対する収入済額の比率87.53%、令和4年度の比率は88.29%であり、収納率は対前年度比で0.76%悪化しています。

収入未済額も、8億7,300万円になっており、調定額との比率は12.09%、前年度の同比率は、11.35%で、同様に0.74%悪化しています。これは神崎市国保世帯、3,665世帯へ税負担が重くのしかかっている証拠であります。そういう現実を認識し、市の国保行政は平成20年より国保税率を変えず、市民の税負担の軽減に努力し、また県内で唯一、滞納者が医療費の全額負担となってしまう資格証を発行せず、短期保険証の交付で医療費の保険適用ができるよう、努力していることは評価します。

日本共産党神崎市議団は国保税引き下げのため、以下のことを提案してきています。国に対しては、国の負担割合を元の割合に戻し、課税区分の「均等割り」「平等割り」を廃止すること。また市に対しては、国保税引き下げのため、一般会計から繰入金を増額を行うこと。国保世帯3,665世帯に対し一般会計から、3,665万円国保会計に繰り入れをし、一世帯1万円の引き下げを実現すること。市の一般会計決算は黒字であり、国保会計へ補助金の増額をする力があります。市の行政の使命は税金を市民の「いのちとくらし」を守るために税金を使うことです。このことを指摘し、令和5年度国保決算認定に反対し、討論とします。

賛成 討論 原口ひさよ 議員

令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について、賛成の立場で討論をおこないます。

国民健康保険特別会計の決算については、合併以降、収入が支出を上回っています。財政調整基金積立や取り崩しを行い運用しており、一般会計からの補てんや繰上げ充用は行われていません。

国保の被保険者数は、年々減少傾向にあります。原因としては団塊世代の被保険者が後期高齢者医療制度へ移行されることに加え、令和4年10月から社会保険加入適用が拡大されたことに伴う資格喪失者数の増加によるものです。

そのため、保険税の調定額も年々減少傾向にある中で、令和5年度は神崎市国民健康保険第3期保健事業実施計画を策定され、被保険者の健康の保持増進、生活習慣病などの予防や早期発見を目的とし、特定健康診査・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防など多くの保健事業が実施されています。

また、医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知、重複頻回受診対象者訪問等医療費適正化にも熱心に取り組まれています。

令和5年度の国民健康保険特別会計の決算においても、保険税の引上げを行わず事業実施をしてこられたことに対して評価するものであります。

以上のことから、令和5年度神崎市国民健康保険特別会計決算についての賛成討論いたします。



議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長 平山 文也

去る9月12日に開催した特別委員会においては、第1分科会、第2分科会及び議会報告会運営会議の調査・研究項目について、それぞれ経過報告を行うとともに、委員全員で確認を行いました。

まず第1分科会では、ICT化の推進について、11月中にタブレット端末の導入を目指し、12月定例会を紙使用との併用期間、3月定例会から一切の紙使用を行わない。端末操作習熟度向上のための研修会を実施。端末の通信費は、全て議員個人負担とすることなどを委員全員で確認を行いました。また議会基本条例政治倫理条例の制定の必要性についても引き続き調査研究していくことで確認されております。

次に第2分科会では、政務活動費の取扱及び総括質疑の在り方について、検討がなされ、携帯電話通話料について、各党派の充当状況や携帯電話の利用区分が明確に区別できないことから通信費補助を廃止す

る。総括質疑の在り方についてはこれまで通りとすることで確認がされております。

最後に議会報告会運営会議の協議経過について、11月1日、2日及び10日の3日間とし、開催チラシの全戸配布で周知を図るなど、参加しやすい議会報告会となるように準備を進めております。

本特別委員会では、市民に分かりやすく、より一層に「開かれた議会」を目指すために閉会中に随時、各分科会及び特別委員会を開催し、調査検討を重ねてまいります。



▲議会報告会運営会議の様子

議会の動き (令和6年7月～9月)

7月8日	議会広報編集特別委員会	23日	議会運営委員会
17日	議会広報編集特別委員会	8月28日～ 9月27日	令和6年8月第4回神崎市議会定例会
24日	令和6年度知事・市町議会議長懇話会 (佐賀市)	28日	全員協議会
25日	議会広報編集特別委員会	9月2日	議会広報編集特別委員会
26日	令和6年度佐賀県市議会議長会議員研修会 (唐津市)	9日	令和6年度予算特別委員会
30日	令和6年度防衛省全国情報施設協議会総会	10日	文教厚生常任委員会 総務常任委員会
31日	議会広報編集特別委員会	12日	議会改革検討特別委員会
31日～ 8月2日	佐賀県市議会議長会議長視察研修 (北海道)	17日～24日	令和6年度決算特別委員会
6日～7日	総務常任委員会行政視察研修 (宮崎県、鹿児島県)	25日	議会運営委員会
	文教厚生常任委員会行政視察研修 (長崎県)	27日	全員協議会
20日	総務常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会		

総務常任委員会行政視察研修報告

委員長 木原 憲治

今回の研修は、8月6日から7日の2日間で、初日は宮崎県串間市において地域防災計画、防災・減災対策について、翌7日には鹿児島県鹿屋市において、移住・定住対策について研修いたしました。まず串間市は、風光明媚な海岸線に近い居住地域の地形的な特徴から地震に備えた津波対策が行われ南海トラフ地震を想定した自主防災、避難所や備蓄対策、関係機関との連携など体制が整備され、震度7想定で津波17m避難者6,800人、建物被害2,500棟、災害廃棄物70万トンなど想定に対して自主防災組織数139組織、組織率90%以上を達成されていきました。

次に鹿屋市は、大隅半島中央部に位置し商業施設、医療機関、国立大学、青少年自然の家、健康・スポーツなど特色ある施設が集積していました。移住・定住対策についてはターゲットを絞り、1. 求められている職種、特に看護師や保育

士の人材確保に努め全国から探し求める。2. 就農に意欲のある人材確保に努め農林水産業の維持拡大を図る。3. DX(デジタルトランスフォーメーション)により様々な人材不足を補うためIT技術者など職種を限定した人材確保を今年度の重点施策として具体的に戦略的に取り組んでおられました。

今回の研修の翌日に日向灘沖地震が発生し日頃から防災・減災対策の必要性を改めて感じました。



▲串間市での研修の様子

文教厚生常任委員会行政視察研修報告

委員長 白石 昌利

8月6日から7日に、長崎県大村市、佐世保市にて行政視察研修を行いました。

長崎県大村市「eスポーツを活用した取組み」について。大村市は、様々な社会課題が深刻化する中でeスポーツを通して地域課題解決等を行っていくため、一般社団法人長崎県eスポーツ連合と包括連携協定を締結されております。主な連携事項は、教育・国際交流施策、福祉・医療施策、地域活性化・関係人口創出施策に関することなどです。実際に市主催のお祭りなどでeスポーツ体験会の開催などを行われています。eスポーツは地域課題解決の一助になるものとして今後注目されているものとして、大変有意義な研修となりました。

長崎県佐世保市「佐世保市立図書館」について。佐世保市立図書館は、令和6年度に「子ども読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞されて

います。受賞には、地域の特色を生かした取組みや、「ビブリオバトル」という本の紹介ゲーム大会の開催などの、利用促進の取組みなどが評価されたとのこと。また、児童・生徒の郷土研究発表会や館内に郷土出身作家の紹介コーナーを作るなど、郷土を誇りに思う気持ちを大切にされています。本や、住んでいる「まち」が好きになる、図書館としての大切な役割を果たしており、大変貴重な研修となりました。



▲佐世保市立図書館での研修の様子



徳川 博人 議員

スマート農業を どう取り組むのか



議員 スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)被害対策について、今年は県より注意報も発令され大きな被害が出ているが、市としての対策はあるのか。

議員 関係機関と協議し実証実験を含めて議論したい。

議員 自然災害が多い中で、市内に自家発電機は何台あるのか。

中島総務企画部長 市内に、常設は6台・移動式13台・蓄電池3台を準備しており、九州電力から発表される停電の復旧状況などを確認し電力を必要とする施設に配備している。



平山 文也 議員

農業の担い手対策、 今後何がどう変わるのか



議員 食糧農業農村基本法が改正されたが今後何がどう変わるのか。

議員 食糧農業農村基本法が改正されたことにより、食料安全保障の強化や持続可能な農業の推進などの変化をもたらす。神崎市農村振興基本計画において、農業の魅力向上と持続可能な農業の推進などに向けた検討を進める。

議員 環境負荷や労力の軽減ともなるマイコスマを提案し、人口減少や高齢化に伴う農地荒廃を食い止める狙いである「地域計画」、具体的にどう進めるのか。

議員 農業のDX化支援について具体的にどのような支援を掲げられているのか。

議員 農業のDX化支援について具体的にどのような支援を掲げられているのか。

議員 農業のDX化支援について具体的にどのような支援を掲げられているのか。

議員 農業のDX化支援について具体的にどのような支援を掲げられているのか。

議員 スマート農業は、超省力化し高品質な生産を目的に定義されているが、市として、担い手確保を含めどのように課題解決を行うのか。

議員 食料供給困難事態対策法の農家説明はどのように行うのか。



自動運転の田植え機



T30 ドローン



事前排水後の県営浮島線中津江第三樋門上流

議員 内水氾濫対策として神崎市での田んぼダムの取組及び貯留効果の結果は。

實本農政水産課長 神崎市の田んぼダムの取組面積は、774ha、近隣流域の吉野ヶ里町他2町を含む



水害対策は、田んぼダム 事前排水で乗り切ろう



めれば合計で総面積1,290haとなる。田んぼダムの貯留効果は、約129万㎡で、25mプール約3,225杯相当を一時貯留したことになる。

議員 クリーク事前排水でどの程度の貯留効果があるのか、また浸水被害がある千代田東部地区の事前排水関連水路はどこか。

農政水産課長 千代田東部地区、水害関連水路は、国営千代田線・三田川線・県営水路、詫田線・曾根

線・浮島線が影響。また事前排水により1m水位を下げた場合で最大で約104万㎡貯留、25mプールにして約2,600杯相当の貯留効果があった。

議員 田んぼダム・クリーク事前排水合計で約233万㎡、25mプール約5,825杯相当を貯留し大変な結果だが、来年以降の継続は。

農政水産課長 これまで同様の県の支援をお願いしていく。

ナガエツルノゲイトウについて

議員 別名地球上最悪の侵略的水生植物と呼ばれるナガエツルノゲイトウが、黒津漁港で発見された。早急な対策をお願いしたい。

濱野生活環境推進課長 河川管理者の筑後川河川事務所および九州地方環境事務所と協議し早急に対応する。



神崎市における 企業誘致の推進について



であるが、地権者の同意を得ており、企業進出を検討されている企業からの問い合わせに対して紹介できるように準備している。

議員 企業誘致に対する市長の考えは。

市長 災害に強いまちづくりということ、神崎市の発展のための基礎と考えており、その中に産業・経済の振興の柱の一つとして企業誘致があると考える。若い人が働く場で正社員雇用にこだわった

製造系の企業、IT関連のビジネス系の企業は神崎駅近く、間伐材を活用するような企業は脊振町など、神崎市として誘致を働きかける企業としては幅広く考えている。今後は色んな所に情報収集のアンテナを高くして神崎市への企業誘致を1社でも多く実現できるように取り組んでいきたい。

その他の質問
・高齢者福祉の充実について



神崎市に進出した企業の、現在の工事（造成中）の様子（西郷地区）

嶋産業建設部長 狭い通学路の道路拡幅や歩道カラー舗装の実施については、神崎市通学路交通安全プログラムに基づいて、教育委員会、建設課、防災危機管理課、こども家庭課が窓口となり、学校、警察署、国道、県道の道路管理者、交通安全協会、交通指導員と合同で通学路における危険箇所を点検を行っている。また、学校や区長からの要望、意見も踏まえ、通



野回 英樹 議員

議員 市内通学路には、狭い道路が通学路になっている所がある。道路の拡幅や歩道のカラー舗装の改善の考えはないのか。

狭い通学路、道路拡幅やカラー舗装の改善を求める



学路において、交通量が多く、危険性が高い箇所について、道路拡幅や歩道カラー舗装などの安全対策について検討を行い、児童・生徒の安全な通学に必要な対策を講じている。

各小・中学校に対して

市道におけるカラー舗装の設置検討箇所の調査の結果、市道24路線が選定され、現地の状況や交通量などを確認し、7路線を優先し、残りの17路線も今後、順次対策箇所に移行していく予定である。



狭い歩道を登校する子ども達（神崎町本堀）



福岡 清道 議員

議員 「ホテル神崎温泉跡地周辺活用事業」この事業は入札不調により現在中断をしている。市は今後この跡地をどう活用するのか。

嶋産業建設部長 今後については仁比山地区の素晴らしい風景をどのように生かしていくことができるのかといった立ち止まって、アウトドア事業も含めて利活用について地元や市民、議会の意見を聞き、検討していきたい。
議員 この事業の計画作成は大手コンサルタント会社との単独随意契約となっているがなぜか。
産業建設部長 企業誘致関係で金融機関よりその

公園計画の全面的見直しを



コンサルタント会社を紹介してもらった。この会社は全国自治体でのまちづくりについて経験も豊富であり、そこで、神崎市のまちづくりについて現地視察してもらった。この間12回現地視察や協議を重ねている。

議員 事業計画のために専門業者から意見を聞き、勉強することは当然行政としてあることであるのか。

り問題はない。しかし、単一随意契約をしたことは問題である。
産業建設部長 地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定に準拠している。
議員 そつは思わない。入札はすべきであった。
産業建設部長 資力・信用・技術・経験等を有する相手方を選定し、随意契約を行った。



一旦立ち止まって考えられている現在の「ホテル神崎温泉跡地」



どうする広滝地区

議員 脊振地区に身近な過疎対策・活性化対策が実施されていないと感じているが、市長はどのように捉えているのか。

市長 地方の人口減少は顕著になっており、地域の活性化は、神崎市の発展には欠かせないと考えている。



中野 均 議員

脊振地区の活性化は、神崎市の発展には欠かせない



の活性化に向けた取組は一層重要と認識している。次の視点を持って展開していきたい。「一定の所得の実現」「山村留学の推進」「移住・定住の取組み」「交流人口、関係人口増に向けた取組」を通して、特に人口減少が著しい脊振地区の活性化は、神崎市の発展には欠かせないと考えている。

ことで、商店の閉店・路線バスの廃止などで、神崎市は、「住みよいまち」というキャッチフレーズを言っているが、逆に住みにくいまちになってきている。再度、今後の施策について聞く。

中島総務企画部長 令和3年度に作成した神崎市過疎地域持続的発展計画に基づいた施策を着実に進める。

学童保育（公立保育園）について

議員 夏休み期間中に、学童保育を実施されている所があるが、保護者のニーズに沿った学童保育を公立保育園で実施する考えはあるのか。

八谷福祉事務所長 だれでも通園制度なども控えており、現時点においては、予定していない。

その他の質問

・市営住宅跡地の利用について



白石 昌利 議員

議員 言語聴覚士は、言葉等に問題を抱える人をサポートする専門知識を持った資格者であり、言葉が出ない、聞き取りや発音など言語と聴覚に関わる分野において言語聴覚士は活躍されている。「言語聴覚士」を配置（巡回訪問）して早期発見に繋げる考えは。

八谷福祉事務所長兼市民福祉部長 言語発達遅延の早期発見、早期支援に関する取組は、子供たちの健やかな成長を支えるために非常に重要な課題である。言語発達遅延の早期発見と支援を実現するため、施策を展開している。

療育施設の充実と言語聴覚士等の人材確保は必要



議員 療育分野において、ことばの知的発達の遅れの有無、対人関係の障害の有無、吃音をはじめとする音声障害の有無等に対する評価や訓練が療育分野で求められている。療育施設の充実及び、言語聴覚士等人材確保及び、療育施設に通う子どもを持つ保護者への対応（相談）等支援の考えは。

障害の診断が出ればサービス利用ができるが、対象とならない児童の訓練や、サービス受給者でも併用できる訓練環境整備など研究が必要であると認識している。

福祉事務所長兼市民福祉部長 市内には通所支援の民間運営の児童発達支援事業所が6箇所ある。

尚、ここ数年で発達障害の認知は急速に進み、何らかの支援を受けたいという人は多いと考えているので、ニーズを把握してどのような支援ができるのか研究を行っている。





農業基本法の改正で 神崎市の農業の在り方は



世代が農業に参入しやすい環境が整うことで、農業人口の減少対策として期待している。

議員 農業基本法の改正ポイントとして、農業生産基盤の第29条に畑地化も視野に入れた農業生産基盤の整備がうたわれているが、水田が畑地化された面積は。

農林水産担当理事 令和5年度に畑地化された面積は4ヘクタール。

議員 全国的に大雨による災害が起きているが、県、神崎市でも水田の治水能力を高めるために田

んぼダム事業を推進されているが、畑地化の推進は各地方自治体の推進している事業に逆行する政策であり、畑地化の目的は水田作付けに交付されている水田活性化交付金の削減にある。

農林水産担当理事 畑地化については、水田経営の中で野菜などのより収益性の高い作物に転換することや、水田を畑地化し小麦や大豆などの国産化を促進することで、食糧自給率の向上に寄与するものであり農業収益の向上が見込まれる。

議員 農家戸数、従事者ともに大幅な減少だが、市の農業人口減少の具体的な対策は。

議員 農家戸数、従事者ともに大幅な減少だが、市の農業人口減少の具体的な対策は。

農林水産担当理事 最新の農業技術や機械の導入によりスマート農業を促進することで、農業者が抱える労働力の負担を軽減することができ、若い



農業基本法の改定で農業を守れるのか？



市民に安全・安心を



して、高齢者世帯への注意呼びかけは、対応はどのようにされているのか。

大坪高齢障がい課長 毎年初夏にかけ民生委員・児童委員に調査を依頼している。また、要支援1・2の高齢者の方にも担当ケアマネージャーから声掛けをするなど対応している。

議員 児童生徒・園児の予防対策として年間を通じた行事の検討をしていますが、

平山教育部長 年間行事のバランスを考慮しながら事後検証を行い、来年

度以降の行事の時期の実施時期について検討していきたい。

佐藤こども家庭課長 今年の運動会を国民スポーツ大会と重複しないよう5月25日に開催し、園児の暑さ対策や職員の負担軽減ができた。今後野外活動を伴う行事は見直しも検討している。

議員 庁舎内等にウォーターサーバーの設置も支援の一つとして検討できないか。

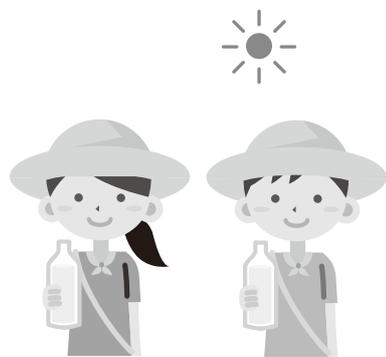
市長 ウォーターサーバーの設置については検討してみたいと思う。

議員 熱中症警戒アラート情報が発令され注意を呼びかけられている。危険な暑さ対策・熱中症予防の対策はどのようになっているのか。

八谷福祉事務所長 これまで、地区の協力のもと地区公民館の開放や市有施設の開放も行っている。令和6年4月からの改正気候変動適応法の全面施行により熱中症対策本部を拡充し全庁的に取り組む体制を築いている。

また、クーリングシェルターとして、神崎市役所、脊振交流センター、千代田交流センターを開放し避難対応を行う。

議員 熱中症予防対策と



一般質問

神崎市議会だより 第70号 (令和6年8月定例会)

嶋産業建設部長 令和5年度に国土交通省補助事業である先導的官民連携

のようないき組みが行われるのか。

議員 令和5年度の調査において本市が所有する旧古賀銀行神崎支店や、長崎街道門前広場の利活用と併せて、民間事業者が旧長崎街道に点在する空き家をリノベーション・活用する産官金連携による取り組みが検討され、いずれの観点から本事業の実現可能性があるとの調査結果を受けている。



神崎町内における旧長崎街道周辺の活性化について



支援事業の採択を受け、対象エリアの活性化に向けて旧長崎街道沿いに位置する公共施設及び民間施設を抽出し、各施設の利活用の可能性を検討することとし、市内観光における滞在性・回遊性の向上や歴史的建造物のほかに街道沿いに点在する古民家などを掘り起こし、一体的な整備を進めていくため、産官金連携によるエリア観光推進事業に関する調査を行い、令和6年度においては、

さらなる関係情報の収集を図り事業計画の精度を高め関係団体との協議、検討を重ねた上で事業主体となるまちづくり会社の設立に向けて資金の調達方法や運営計画など、事業が持続可能となるよう計画を設定していきたい。

その他の質問

- ・旧神崎高校跡地の進捗状況について
- ・北部丘陵跡地の利活用状況について



長崎街道沿いの整備が望まれている

議員 神崎小学校の場合、小学校周辺の道路は道幅が狭く、朝夕の登下校時、生徒や自転車、自動車等の交通量が多く、特に南側の道路は道幅が

議員 現在の校区をもつと自由化し、神崎市内だけでなく市外からの生徒も受け入れやすくすることはできないか。

平山教育部長 神崎市全域を一つの学区として学校選択の自由化をすることについては、現在、隣接する校区境の地区の一部を自由校区と定め、学校選択が可能であり、特段の事情がある場合、指定の学校以外にも通学を認めている。



神崎市の教育行政に多様性を



狭いので車の離合も多く、生徒はそこを行き来している。

さらに大雨や台風時は、道が冠水し、運動場にも馬場川からの水があふれ毎年のように再整備が必要であり、道路は拡張できない状態。

そこで提案として、神崎高校跡地のまとまった土地があることから古くから狭くなった神崎小学校

を移転したらどうか。

嶋産業建設部長 神崎高校跡地については、北側を株式会社ヤクルト本社の増設地とし、残りは多目的用地と住宅用地の3つの用途で利活用を検討しており、若者世代を中心とした居住環境を整備し、地域経済の発展や中心市街地の活性化につなげたい。



神崎小学校登校風景

議員紹介コーナー

議会だより64号でのご意見募集にて、「議員のプロフィールを紹介することで、より議会を身近に感じられると思う」というご意見があったことから、委員会で検討し、議員の紹介コーナーを設けました。今回は、議席番号7～12番議員を掲載します。



【氏名】 平山 文也
【期数】 1期
【校区】 西郷小校区
【趣味】 ゴルフ
【メッセージ】

市民視点の「未来づくり改革」のためにひたすら取り組みます。



【氏名】 服巻 玉美
【期数】 2期
【校区】 脊振小校区
【趣味】 野菜作り
【メッセージ】

過疎が進む脊振町を、高取山公園を中心として元気になりたい。



【氏名】 中野 均
【期数】 4期
【校区】 千代田中部小校区
【趣味】 旅行・道駅めぐり
【メッセージ】

若者が働く機会を図り、住みよいまちを目指します。



【氏名】 野口 英樹
【期数】 5期
【校区】 千代田東部小校区
【趣味】 小中高野球応援
【メッセージ】

子どもは、神崎市の宝。市民の安心・安全なまちづくりを目指します。



【氏名】 野副 芳昭
【期数】 5期
【校区】 千代田西部小校区
【趣味】 読書、川釣り
【メッセージ】

歴史と文化を大切にする子どもから大人までのまちづくりをめざす。



【氏名】 白石 昌利
【期数】 5期
【校区】 千代田中部小校区
【趣味】 道の駅巡り
【メッセージ】

ゆるキャラの積極活用で地域おこしとイメージ（認知度）UPを図ろう。

議会広報編集特別委員会
 委員長 佐藤 知美 委員 副島 英樹
 副委員長 末次 勝 委員 徳川 博人
 委員 田原 和幸 委員 大野 秋人

まもなく師走です、今年の神崎市については、大きな災害の被害も無く安堵いたしました。しかし、石川県能登半島においては、元旦の地震、更に9月に発生した豪雨と甚大な被害に心苦しく感じております。一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。災害が無い当たり前の日常の暮らしに感謝し、災害に強いまちづくりを目指します。（記 末次 勝）

編集後記

今年の秋は、市民のみならず様々な秋を満喫されたと思います。私の今年の秋はなんとと言ってもスポーツでした。今回の佐賀県の開催から、国体から国スポ・全障スポと新たに名称が変わり、一流アスリートの素晴らしいプレーが見られました。

佐賀県は天皇杯、皇后杯ともに2位と素晴らしい成績で幕を閉じました。神崎市においては、剣道、ハンドボール競技が行われ、開催にあたり市民のボランティアの方、また市の職員など多くの関係者の方へご尽力いただきましたこと感謝を申し上げます。